

製品安全データシート

作成 平成 13 年 1 月
改訂 平成 26 年 3 月
改訂 令和 6 年 1 月

1. 製品及び製造者情報

製品名 **日液育苗液肥**
(液状肥料)

会社名 日液化学株式会社
住所 東京都板橋区坂下 1-17-19
担当部門 日液化学株式会社本社工場
電話番号 03-3968-8871
FAX 番号 03-3968-8873

2. 危険有害性の要約

物理的及び化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	酸化性ガス	分類対象外
	高圧性ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性化学品	分類対象外
	鈍性化爆発物	分類対象外

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類対象外
	急性毒性（経皮）	分類対象外
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性／刺激性	分類対象外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類対象外
	呼吸器感作性	分類対象外
	皮膚感作性	分類対象外
	生殖細胞変異原性	分類対象外
	発がん性	分類対象外
	生殖毒性	分類対象外
	生殖毒性・授乳影響	分類対象外
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類対象外
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類対象外
誤嚥有害性	分類対象外	

環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類対象外
	水性環境有害性 長期（慢性）	分類対象外
	オゾン層への有害性	分類対象外

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
皮膚刺激
眼の刺激
金属腐食

注意書き
安全対策

使用前に製品、パンフレット記載の使用方法を確認
取り扱い後は手を洗うこと
保護具の着用

応急措置	換気をよくする 吸入した場合 液体の為、吸入の危険性は特になし 皮膚に付着した場合 洗浄し完全に洗い流す 目に入った場合 直ちに多量の水で洗眼し医師の診断を受ける 飲み込んだ場合 直ちに水で口を濯ぎ、医師の診断を受ける
保管	換気の良い冷暗所で保管すること
廃棄	国、自治体の定める方法で内容物、容器を適切に廃棄する
他の危険有害性	特になし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名または一般名	ほう素マンガ入り複合育苗液肥1号（鉄添加）
成分及び含有量	窒素全量 4.5 % 内アンモニア性窒素 2.0 % 硝酸性窒素 2.5 % 水溶性リン酸 4.5 % 水溶性カリ 4.5 % 水溶性苦土 1.0 % 水溶性マンガ 0.10 % 水溶性ほう素 0.05 % エチレンジアミン四酢酸鉄（鉄） 0.10 %

労働安全衛生法	マンガ 0.10% ホウ素 0.05%
P R T R 法	マンガ 0.10% ホウ素 0.05%
毒劇物取締法	該当なし
危険有害成分	該当なし

4. 応急措置

吸入した場合	液体の為、吸入の危険性は特になし
皮膚に付着した場合	洗浄し完全に洗い流す
目に入った場合	直ちに多量の水で洗眼し医師の診断を受ける
飲み込んだ場合	直ちに水で口を濯ぎ、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

消化方法 不燃性なので特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 危険性は特になし
環境に対する注意事項 魚毒性はないが、河川等への原液の漏出は避けること
除去方法 ウェス、ペーパータオルなどで拭き取り空容器に回収する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱いの注意 特にないが、皮膚に付着の際は洗い流す
保管上の注意 冷暗所に保管して下さい

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない
許容濃度
日本産衛学会 設定されていない
ACGIH 設定されていない
設備対策 手洗い設備を設ける
保護具
呼吸用保護具 マスク
手の保護具 ゴム手袋
眼、顔面の保護具 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 作業着、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
形状 液体
臭い 無臭
融点・凝固点 データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲 データなし
可燃性 難燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 データなし
引火点 データなし
自然発火点 データなし
分解温度 データなし
pH 約 2.4
動粘性率 データなし
溶解度 データなし
n - オクタノール/水分配係数 (log 値) データなし

蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.25
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他データ	特になし

1 0. 安定性及び反応性

安定性	通常状態は安定
反応性	強アルカリと反応、石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスを発生する恐れがある

1 1. 有害性情報

データなし

1 2. 環境影響情報

水性環境有害性	魚毒性はないが、原液の大量放棄は水質の富栄養化をもたらす可能性がごくわずかにある
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

肥料として適切に散布する又は国、自治体の定める方法で内容物、容器を適切に廃棄する

1 4. 輸送上の注意

国際規制	該当なし
国内規制	該当なし
海上規制情報	該当なし
航空規制情報	該当なし
陸上規制情報	該当なし
特別な安全上の対策	積載方法運搬時の積み重ねは2メートル以下とする運搬に際し、転倒、落下、損傷がないよう注意する

1 5. 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律	液状肥料
消防法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
労働安全衛生法	該当あり

P R T R 法	該当あり
船舶安全法	該当なし
航空法	該当なし
海洋汚染防止法	該当なし

16. その他の情報

本書の記載内容は、該当資料、情報に基づき作成されたものになります。当該製品の安全な取り扱い方法について記してありますが、全てを保証するものではありませんのでご了承下さい。